

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 マサル

上場取引所 大

コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荻谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大木 信雄

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,398	—	△266	—	△237	—	△148	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △151百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△33.37	—
23年3月期第2四半期	—	—

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,494	2,633	35.1
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,633百万円 23年3月期 一百万円

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	—	35	—	80	—	50	—	11.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の対前期増減率については記載していません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社塩谷商会、除外 1社 (社名)

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	4,505,757 株	23年3月期	4,505,757 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	8,689 株	23年3月期	108,589 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,447,101 株	23年3月期2Q	4,397,565 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間より連結四半期財務諸表を作成しているため、経営成績及び財政状態の前年同四半期比較の記載は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による国内経済の停滞及び個人消費の落ち込みが回復傾向にあるものの、雇用情勢は依然として厳しい状況が続いているのに加え、欧米の金融不安を背景とした円高・株安の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、東日本大震災における復旧・復興に向けた建設投資が本格的に動き出したものの、公共投資の低落傾向に歯止めがかからず、企業の設備投資への慎重な姿勢が続いたことなどから、民間投資も低い水準で推移しており、業界を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況の中で推移しました。

このような状況の中、当社グループは「総合力を強化し、顧客からの信頼を勝ち取る！」との年度方針のもと、シーリング工事部門とリニューアル工事部門を統合し、市場の変化に素早く対応できる体制として営業4部制に組織を変更、また、採算性を重視した選別受注、工事原価低減活動、販売費及び一般管理費削減など諸施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は41億70百万円、売上高につきましては13億98百万円となりました。利益面につきましては、ほぼ当初の予想通りであります。営業損失は2億66百万円、経常損失は2億37百万円、四半期純損失は1億48百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設工事業)

完成工事高は12億58百万円となり、セグメント損失は2億50百万円となりました。受注高につきましては、公共投資、民間投資とも低水準で推移し、市場規模が縮小方向にあり受注競争が厳しい中、大型工事案件の受注等もあり40億57百万円となりました。

(設備工事業)

完成工事高は1億39百万円となり、セグメント損失は15百万円となりました。受注高につきましては、設備工事業の市場規模は縮小傾向にあり、受注競争が激しく1億13百万円となりました。

なお、当社グループでは第4四半期会計期間に完成する工事の割合が大きいため、通期の売上高に比べ、第2四半期累計期間の売上高は著しく低くなっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は62億89百万円となりました。主な内訳は、受取手形・完成工事未収入金15億95百万円、未成工事支出金35億37百万円であります。固定資産は12億5百万円となりました。

この結果、総資産は74億94百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は42億21百万円となりました。主な内訳は、支払手形・工事未払金12億3百万円、未成工事受入金19億75百万円であります。固定負債は6億38百万円となりました。

この結果、負債合計は48億60百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は26億33百万円となり、自己資本比率は35.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました『連結決算への変更に伴う平成24年3月期連結業績予想について』の通りであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
当第2四半期連結会計期間より、株式会社塩谷商会の全株式を取得し完全子会社化いたしました。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成23年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	881,155
受取手形・完成工事未収入金	1,595,831
未成工事支出金	3,537,086
材料貯蔵品	5,686
その他	269,999
貸倒引当金	△723
流動資産合計	6,289,036
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	190,598
土地	551,163
その他（純額）	13,822
有形固定資産合計	755,584
無形固定資産	
ソフトウェア	2,559
その他	25,487
無形固定資産合計	28,047
投資その他の資産	
投資有価証券	155,817
その他	337,967
貸倒引当金	△72,350
投資その他の資産合計	421,434
固定資産合計	1,205,067
資産合計	7,494,103
負債の部	
流動負債	
支払手形・工事未払金	1,203,609
短期借入金	462,000
1年内返済予定の長期借入金	319,208
1年内償還予定の社債	100,000
未払法人税等	4,813
未成工事受入金	1,975,419
賞与引当金	38,708
工事損失引当金	66,249
完成工事補償引当金	9,949
その他	41,903
流動負債合計	4,221,860
固定負債	
社債	170,000
長期借入金	396,678
負ののれん	2,496
その他	69,554
固定負債合計	638,728
負債合計	4,860,589

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成23年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	885,697
資本剰余金	1,261,600
利益剰余金	497,988
自己株式	△3,139
株主資本合計	2,642,146
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△8,632
その他の包括利益累計額合計	△8,632
純資産合計	2,633,514
負債純資産合計	7,494,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
完成工事高	1,398,154
完成工事原価	1,287,893
完成工事総利益	110,260
販売費及び一般管理費	376,537
営業損失(△)	△266,277
営業外収益	
受取利息	202
受取配当金	1,091
材料報奨金	8,674
負ののれん償却額	499
貸倒引当金戻入額	18,700
その他	10,679
営業外収益合計	39,847
営業外費用	
支払利息	9,191
その他	2,135
営業外費用合計	11,327
経常損失(△)	△237,757
特別利益	
固定資産売却益	140
負ののれん発生益	39,447
特別利益合計	39,588
税金等調整前四半期純損失(△)	△198,169
法人税、住民税及び事業税	2,060
法人税等調整額	△51,841
法人税等合計	△49,781
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148,388
四半期純損失(△)	△148,388

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148,388
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△3,514
その他の包括利益合計	△3,514
四半期包括利益	△151,902
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△151,902

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年7月20日付にて、第三者割当による自己株式の処分を行いました。これにより、当第2四半期連結会計期間において自己株式が35,600千円減少しております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。